

【1】はじめに

森林総合研究所は、文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「応援します！家族責任を持つ女性研究者」（平成19～21年度）に取組み、男女共同参画の取組みの基盤を作って以降、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現を目指した取組を進めています。

森林総合研究所では女性研究者支援モデル育成事業の開始時（平成19年度）と終了時（平成21年度）に男女共同参画意識調査を実施しました。19年度の調査は事業開始にあたり基礎資料として職員の男女共同参画の意識および所内保育室に関する要望を把握することを目的として行われ、この調査結果は事業実施に反映されました。次いで、21年度の調査は事業の成果を検証することを目的として行われました。この調査では、男女共同参画に関する概念について平成19年度調査より認知度が少し高まっていることが示唆されるとともに、事業で整備された男女共同参画室ホームページや一時預り保育施設の認知度が高いこと、また研究支援、テレビ会議システム、セミナーに関して肯定的な評価がされていること、特に研究職職員の認知度が高いことが示されました。

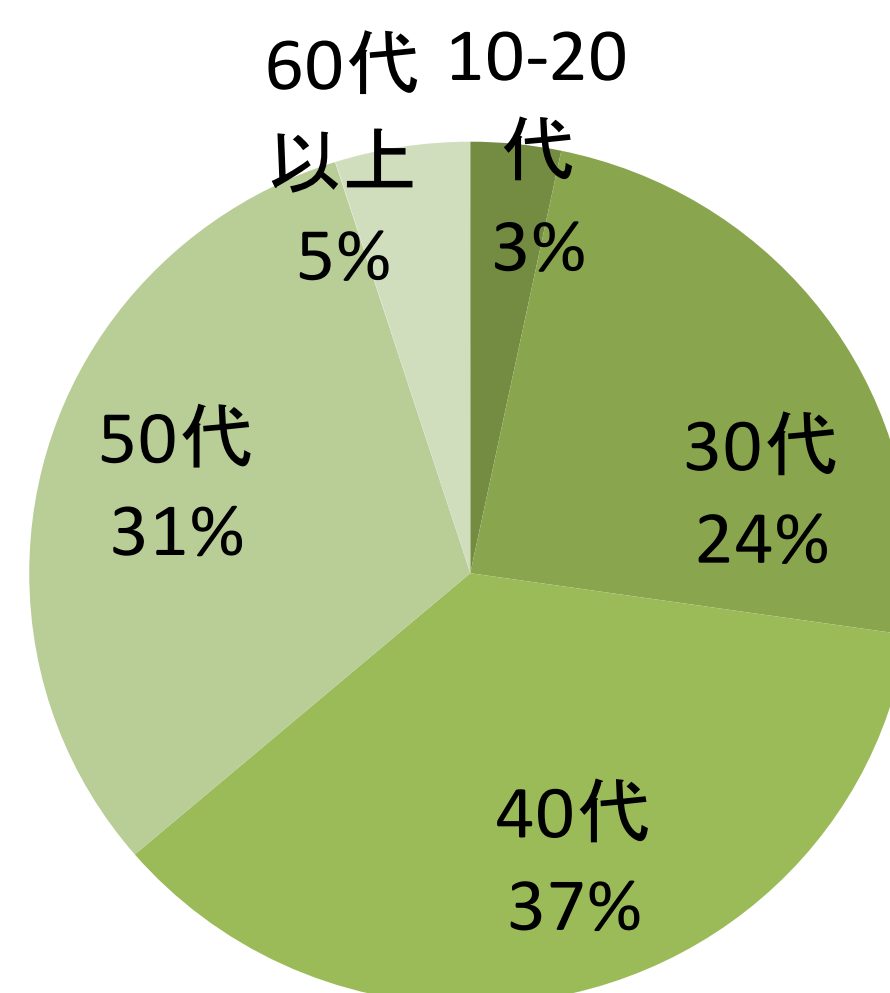
そして、平成19年度から現在に至る男女共同参画推進の取組の効果を検証すること、および現在の男女共同参画に関する要望を把握することを目的として、平成24年度に3回目の男女共同参画意識調査を実施しました。本調査結果は、森林総合研究所における男女共同参画推進に資するものです。男女共同参画週間にあたり、本所（正面玄関）において詳細な結果の展示を行っていますが、ダイジェスト版をここに紹介いたします。また、本調査全体の報告書は後日印刷・配布する予定です。

【2】調査の概要

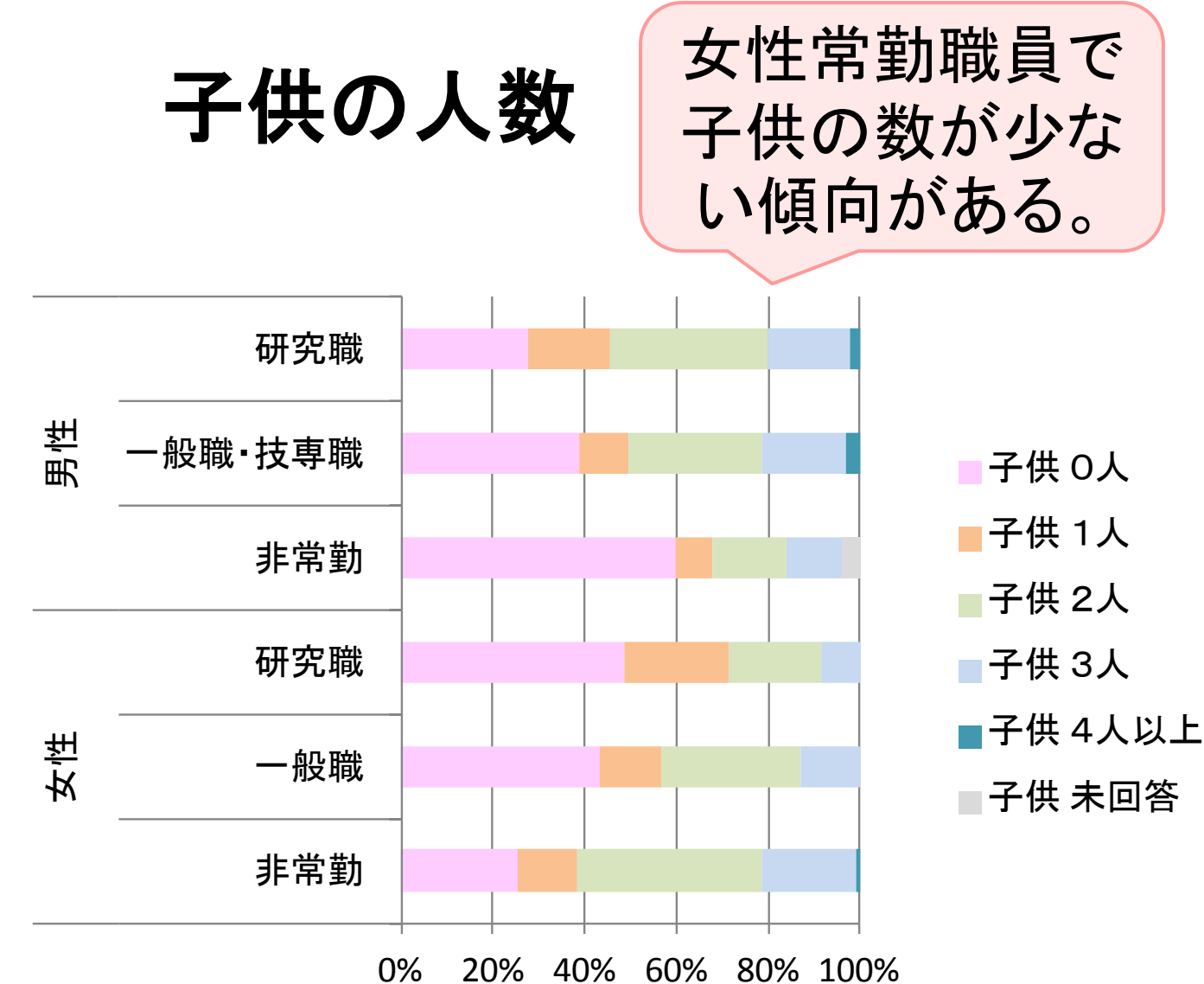
- (1) 調査対象
(独) 森林総合研究所の全ての役職員 1087名
- (2) 回答方法
webサイトで回答 または 記入用紙に記入
- (3) 調査回答期間
平成24年11月2日（金）～12月5日（水）
- (4) 設問数
フェースシート12問、本質問32問の合計44問
- (5) 回答数
Webサイト483名+記入用紙65名 合計547名
(回答率50%)

【3】回答者の属性

回答者の年代



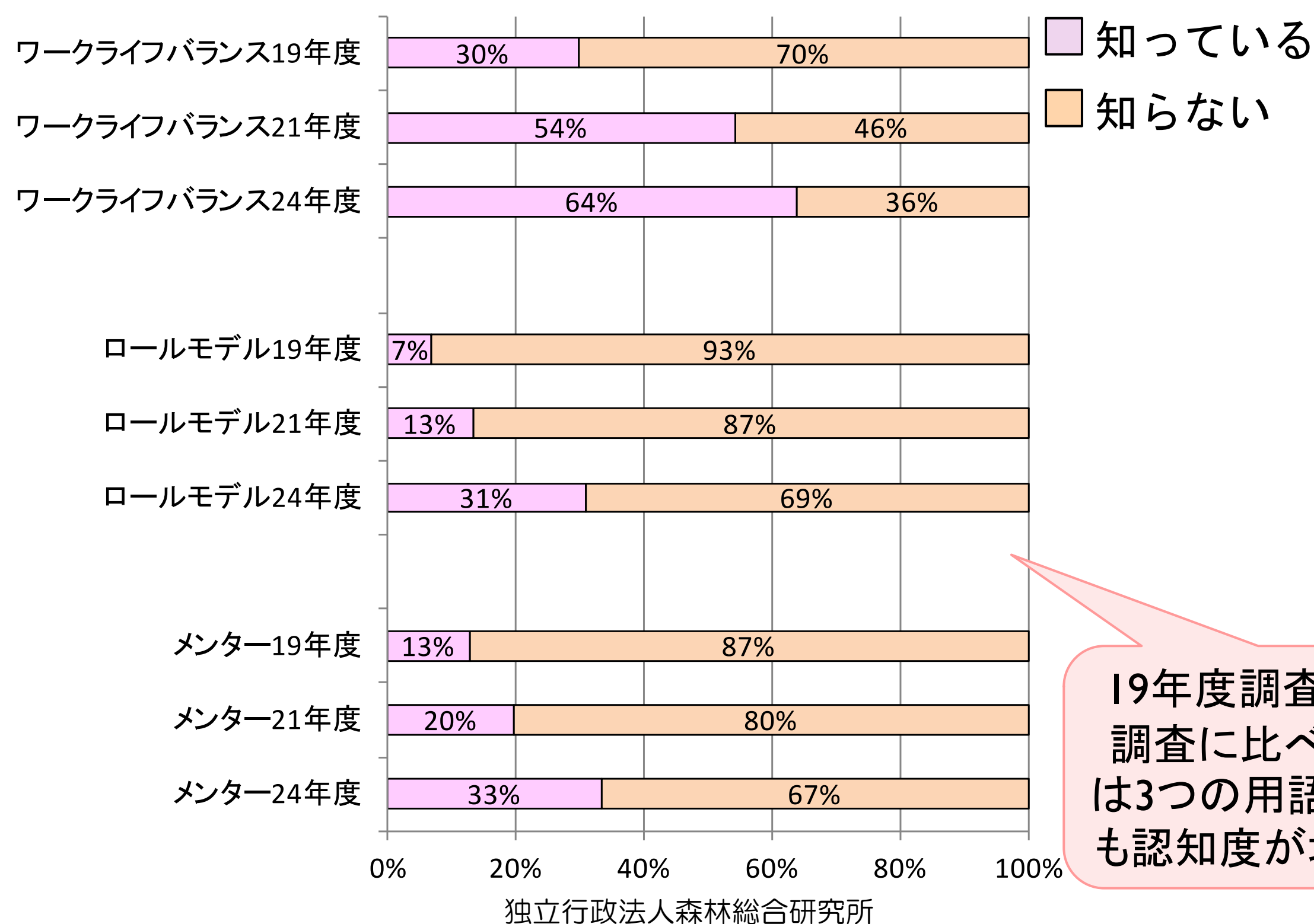
子供の人数



【4】本設問

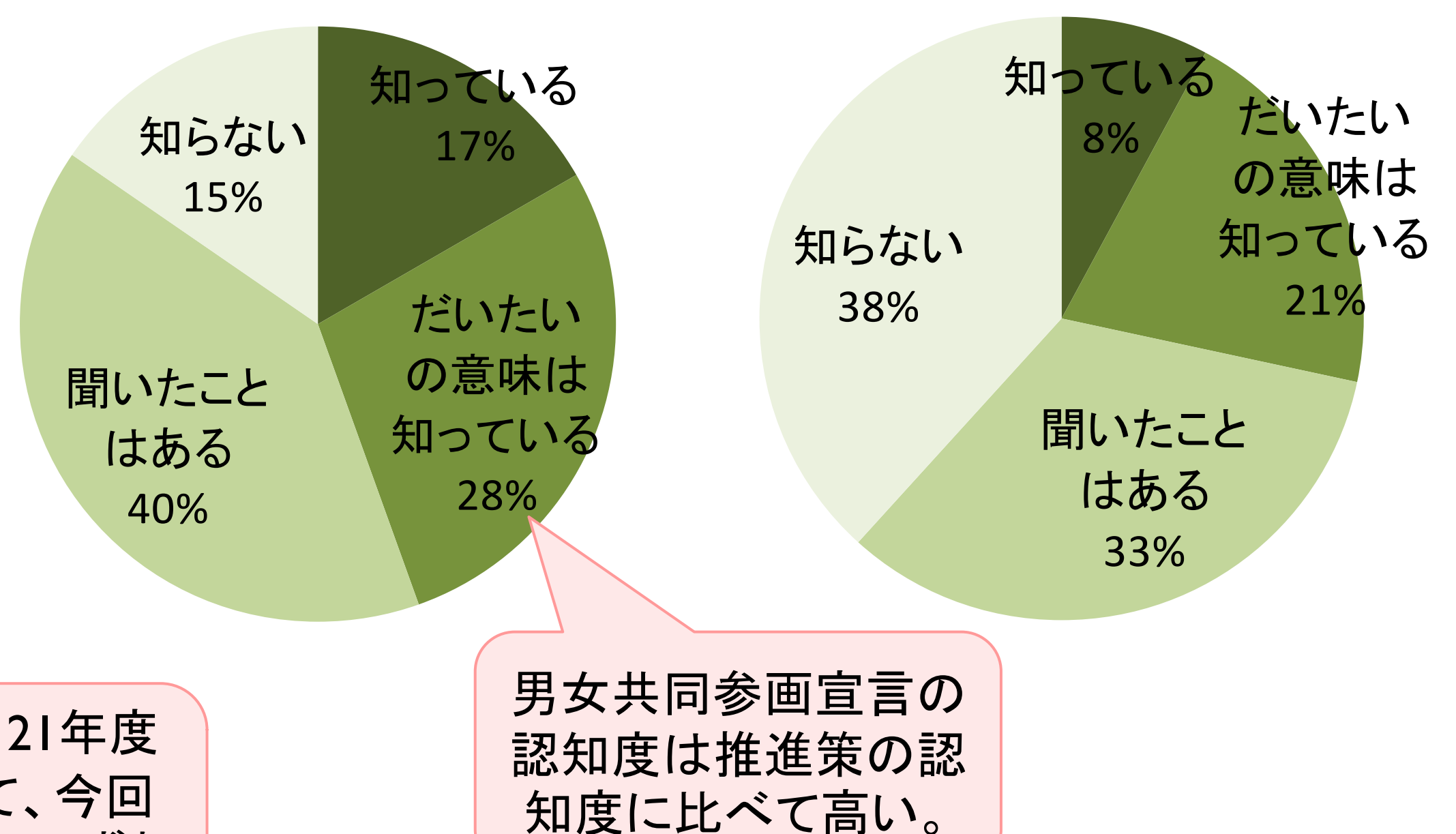
4. 1 男女共同参画の関連用語の認知度

3つの用語についての認知度について 3回の調査結果の比較



4. 2 男女共同参画宣言等の認知度

男女共同参画宣言の認知度 第3期中期計画期間における男女共同参画推進策の認知度



19年度調査、21年度調査に比べて、今回は3つの用語のいずれも認知度が増加した。

男女共同参画宣言の認知度は推進策の認知度に比べて高い。

